

平成21年12月期 第1四半期決算短信

平成21年5月14日

上場取引所 JQ

上場会社名 新報国製鉄株式会社
 コード番号 5542 URL <http://www.shst.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画室長
 四半期報告書提出予定日 平成21年5月15日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 川口 一男
 (氏名) 森 善男

TEL 049-242-1950

(百万円未満四捨五入)

1. 平成21年12月期第1四半期の連結業績(平成21年1月1日～平成21年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年12月期第1四半期	475	—	△397	—	△386	—	△366	—
20年12月期第1四半期	2,297	59.5	347	173.3	356	115.6	△23	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年12月期第1四半期	△115.60	—
20年12月期第1四半期	△7.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年12月期第1四半期	4,453	1,475	31.0	435.53
20年12月期	4,882	1,897	36.2	557.90

(参考) 自己資本 21年12月期第1四半期 1,380百万円 20年12月期 1,768百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年12月期	—	—	—	6.00	6.00
21年12月期	—	—	—	—	—
21年12月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年12月期の連結業績予想(平成21年1月1日～平成21年12月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	1,200	△72.8	△420	—	△380	—	△340	—	△107.30
連結累計期間	3,000	△57.7	△620	—	△550	—	△500	—	△157.80

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年12月期第1四半期 3,510,000株 20年12月期 3,510,000株

② 期末自己株式数 21年12月期第1四半期 341,697株 20年12月期 341,336株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年12月期第1四半期 3,168,564株 20年12月期第1四半期 3,173,611株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、今後、様々な要因によって異なる場合があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国の経済動向は、世界的な景気の後退により、輸出の減少、失業率の上昇など極めて厳しい状況で推移しました。

当社の主力顧客であります半導体製造装置、液晶パネル製造装置及びシリコンウエファ業界の景気動向も日本経済の動向と軌を一にし、受注量の減退を余儀なくされました。

その結果、設備投資の抑制により半導体製造装置用部品、液晶パネル製造装置用部品及びポリッシング定盤等の受注が大幅に減少し、売上高は475百万円、営業損失は397百万円、経常損失は386百万円、四半期純損失は366百万円となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)が適用されたことに伴い、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。また、従来、たな卸資産の処分に係る損失については、営業外費用に計上しておりましたが、同基準の適用に伴い、収益性の低下による簿価切下げによって発生する評価損とたな卸資産の処分に係る損失を期間損益計算において同等の損益区分で処理することが適当であると判断し、当第1四半期連結会計期間から売上原価に計上する方法に変更しております。この結果、従来の方法によった場合に比べて、当第1四半期連結会計期間の営業損失が233百万円、経常損失及び税金等調整前四半期純損失が222百万円それぞれ増加しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、前連結会計年度末より429百万円減少し4,453百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金の減少額435百万円等によるものです。

負債は、前連結会計年度末より7百万円減少し2,978百万円となりました。これは主に長期借入金の増加額586百万円、支払手形及び買掛金の減少額423百万円等によるものです。

純資産は、前連結会計年度末より422百万円減少し1,475百万円となりました。これは主に利益剰余金の減少額385百万円等によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成21年2月19日発表「平成20年12月期 決算短信」の業績予想から変更ありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

①棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)が適用されたことに伴い、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

また、従来、たな卸資産の処分に係る損失については、営業外費用に計上しておりましたが、同基準の適用に伴い、収益性の低下による簿価切下げによって発生する評価損とたな卸資産の処分に係る損失を期間損益計算において同等の損益区分で処理することが適当であると判断し、当第1四半期連結会計期間から売上原価に計上する方法に変更しております。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、当第1四半期連結会計期間の営業損失が233百万円、経常損失及び税金等調整前四半期純損失が222百万円それぞれ増加しております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	704,408	635,990
受取手形及び売掛金	446,206	881,450
製品	663,354	553,945
仕掛品	747,123	957,235
原材料	252,794	337,567
その他	203,991	42,841
流動資産合計	3,017,876	3,409,029
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	489,838	498,343
土地	524,385	524,385
その他(純額)	334,851	360,720
有形固定資産合計	1,349,074	1,383,448
無形固定資産	7,420	7,912
投資その他の資産	78,866	81,931
固定資産合計	1,435,360	1,473,291
資産合計	4,453,236	4,882,320
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	624,116	1,046,760
短期借入金	647,799	636,705
1年内償還予定の社債	200,000	200,000
未払法人税等	887	99,593
賞与引当金	44,200	35,650
設備関係支払手形	46,277	76,443
その他	84,685	159,066
流動負債合計	1,647,964	2,254,217
固定負債		
長期借入金	752,727	166,977
退職給付引当金	211,085	205,915
役員退職慰労引当金	253,948	244,636
その他	112,150	113,506
固定負債合計	1,329,911	731,034
負債合計	2,977,874	2,985,251

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	175,500	175,500
資本剰余金	133,432	133,432
利益剰余金	1,174,003	1,559,312
自己株式	△118,693	△118,638
株主資本合計	1,364,242	1,749,606
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	15,635	18,182
評価・換算差額等合計	15,635	18,182
少数株主持分	95,485	129,281
純資産合計	1,475,362	1,897,069
負債純資産合計	4,453,236	4,882,320

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日)
売上高	474,652
売上原価	712,359
売上総損失(△)	△237,707
販売費及び一般管理費	159,426
営業損失(△)	△397,133
営業外収益	
受取利息及び配当金	62
受取賃貸料	4,893
助成金収入	10,644
雑収入	5,350
営業外収益合計	20,949
営業外費用	
支払利息	5,971
雑支出	3,880
営業外費用合計	9,851
経常損失(△)	△386,035
特別損失	
固定資産除却損	1,995
特別損失合計	1,995
税金等調整前四半期純損失(△)	△388,031
法人税、住民税及び事業税	338
法人税等調整額	8,791
法人税等合計	9,128
少数株主損失(△)	△30,862
四半期純損失(△)	△366,296

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△388,031
減価償却費	34,402
有形固定資産除却損	1,995
賞与引当金の増減額(△は減少)	8,550
退職給付引当金の増減額(△は減少)	5,171
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	9,312
受取利息及び受取配当金	△62
支払利息	5,971
売上債権の増減額(△は増加)	435,244
たな卸資産の増減額(△は増加)	185,477
仕入債務の増減額(△は減少)	△422,644
未収入金の増減額(△は増加)	△154,140
その他	△78,765
小計	△357,521
利息及び配当金の受取額	62
利息の支払額	△7,698
法人税等の支払額	△95,917
営業活動によるキャッシュ・フロー	△461,073
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△64,049
その他	△1,436
投資活動によるキャッシュ・フロー	△65,485
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	△148,897
長期借入れによる収入	780,000
長期借入金の返済による支出	△34,259
自己株式の取得による支出	△55
配当金の支払額	△13
少数株主への配当金の支払額	△1,800
財務活動によるキャッシュ・フロー	594,976
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	68,418
現金及び現金同等物の期首残高	127,790
現金及び現金同等物の四半期末残高	196,208

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(要約) 四半期連結損益計算書

前第1四半期連結累計期間(平成20年1月1日～平成20年3月31日)

科 目	前年同四半期 (平成20年12月期 第1四半期)
	金額(千円)
I 売上高	2,297,323
II 売上原価	1,776,125
売上総利益	521,197
III 販売費及び一般管理費	174,087
営業利益	347,111
IV 営業外収益	24,245
V 営業外費用	15,722
経常利益	355,633
VI 特別損失	221,911
税金等調整前四半期純利益	133,722
税金費用	149,572
少数株主利益	6,824
四半期純損失	22,673